

# 顕著な大雨に関する気象情報の 新たな運用について



国土交通省 気象庁

**山形地方気象台**



- 顕著な大雨に関する気象情報※1は、これまでは線状降水帯の“発生”をもって発表していたが、今後は線状降水帯が“発生する直前”（30分前を目標）“でも発表できるよう運用変更”※2
- 気象庁HPの「雨雲の動き」「今後の雨」で線状降水帯を予測段階から表示（左下図）
- 提供開始予定：令和5年5月25日13時

※1:顕著な大雨に関する気象情報…線状降水帯の発生による大雨の危機感を伝えるための情報  
 ※2:線状降水帯を予測できず実況で発生した場合もこれまで通りの運用でお知らせ

## 気象情報

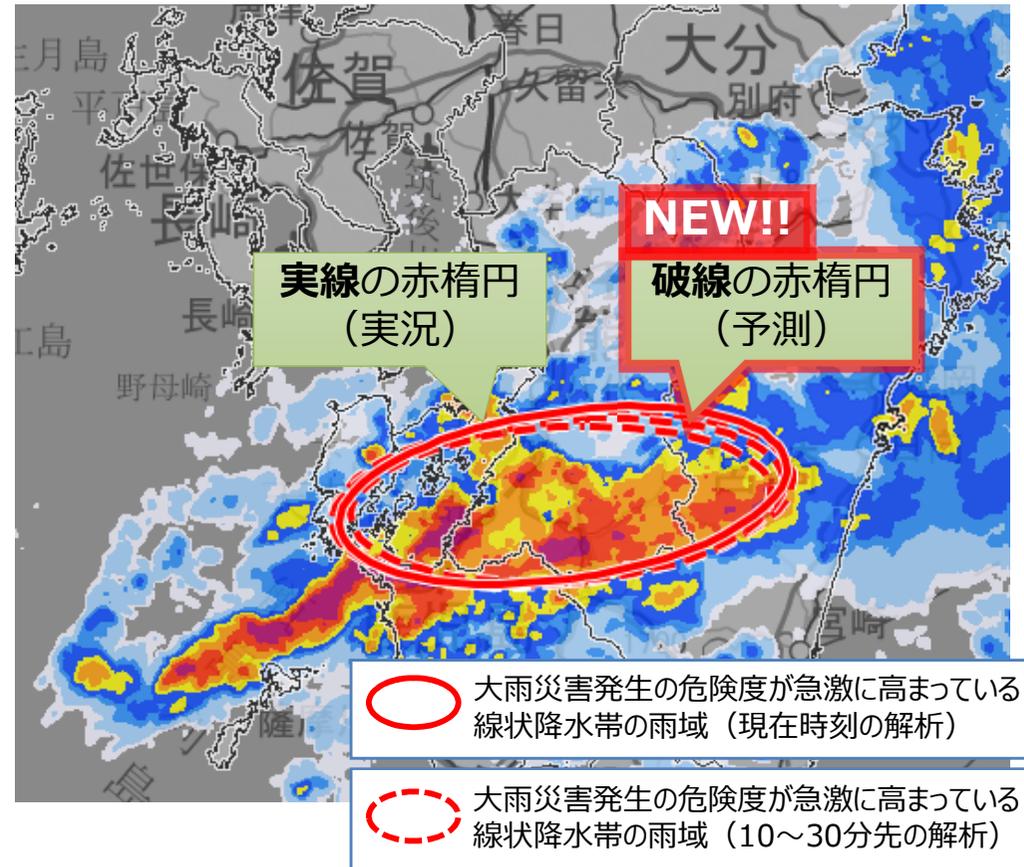
顕著な大雨に関する山形県気象情報 第xx号  
 令和x年xx月xx日xx時xx分 山形地方気象台発表

(見出し)

最上では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続けています。(以下略)

→記載内容は現行（実況で発表）と変わらないが  
予測段階からお知らせが可能に！

## 雨雲の動き





- 令和11年頃にかけて線状降水帯の予測精度を向上し、予測対象地域の絞り込みや予測時間の延長を行っていく  
→大雨による危機感を少しでも早く・具体的に伝えることを目指す

## <線状降水帯の予測精度向上等に向けた取組計画>

